

11	H30.6.6	艇庫前砂浜にバーベキューを行った跡があり、周辺に飲料のペットボトルや花火が散乱していた。近くに設置していた「バーベキュー禁止看板」が倒されていた。	前日の物損被害の際に来園した警察官に電話で報告した。看板は翌日に修繕した。
12	H30.6.24	管理センターB 1階シャッターが、外側からの強い力によりレールから外されていた。	直ちに修理し、正常に作動させた。
13	H30.7.1	柴口駐車場の普通車入口ゲートバーに来園者の車両が接触し、バーが破損した。	直ちにバーを交換した。
14	H30.8.4	磯浜男子トイレ個室扉が壊されていた。	直ちに扉の修繕を行った。
15	H30.8.4	公園利用者が、艇庫前砂浜側緑地帯に設置している水道メーター用地下ピットの蓋が外れピット内に落下し負傷した。	南口案内所に勤務する看護師が傷の手当てを行った。蓋は落下防止加工を行い、再設置した。
16	H30.8.7	柴口駐車場で草刈作業中に、駐車中のマイクロバスに石飛し、窓ガラス1枚を破損した。	お客様にお詫びし、代替車両の手配をした。車両の修理等は作業をしていた委託業者が保険で対応した。委託業者と再発防止策等打合せを実施した。
17	H30.10.1	台風24号の強風により、管理センター事務所入口天板が落下した。	後日修繕を行った。
18	H31.2.20	第3受電所の高圧き電盤(磯浜)VCBがトリップし、南口休憩所から南側の園内施設が停電になった。	直ちに不具合箇所の特定を行うとともに艇庫、磯浜駐車場の利用者に不便の無いよう対応を行った。点検後不具合箇所の特定はできなかったが、通電しても問題ないとの判断をし復電させた。

(事業報告書様式8)

市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進

(1) 自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ**ア 海水浴場等の安全で快適な運営を行います。****(ア) 潮干狩り**

- ・アサリの放射能濃度測定検査及び貝毒検査の結果をホームページで公開、仮設の迷子案内所の設置、看護師の配置、ライフセーバーの配置、金沢警察・首都高速道路・八景島等と連携し、渋滞緩和の対応により、安全な運営を行った。
- ・ホームページへの干潮時刻表の掲載、ポスター・チラシ・看板の掲出、警備員による巡視による大量採取規制、潮干狩りグッズの販売やキッチンカーの展開、仮設トイレの設置により、快適な運営を行った。

(イ) 海水浴場

- ・ライフセーバーによる監視、遊泳禁止基準の設定、迷子案内所の設置、看護師の配置により、安全な運営を行った。
- ・更衣室・シャワー室、大型休憩テントの設置、海水浴場の利用案内看板の設置、砂浜での喫煙防止の啓発、海水浴グッズの販売、海開きイベントの開催により、快適な運営を行った。

(ウ) その他施設

- ・なぎさ広場、ビーチバレー場、ビーチスポーツ場、犬の遊び場、ジョギングコースなど、園内の各施設の有効活用と利便性の向上を図った。

イ 閑散期の利用促進を行います。

冬季の利用者が大きく減少するため、各種イベントの開催、イルミネーションの設置により、利用促進を図った。

ウ 環境教育へ取り組みを行います。

海辺の環境資源を活用し、環境教育の機会と場を提供し、環境啓発を行った。

(2) 市民サービス向上の取組の考え方

横浜市公園条例、環境創造局「公園に関する FAQ」の公園利用のルールを踏まえ、丁寧な説明とお願いにより、誰もが快適に過ごせる園内環境づくりに取り組んだ。

(3) 利用促進の取組、利用者支援等の取組について

利用促進・利用者支援のために、本様式11に基づく自主事業を実施した。

(4) 指定管理者が課題に感じている公園運営改善策

・利用者による喧噪行為や、ランナーと歩行者とのトラブル等に対しては、巡視点検時の声かけや注意看板の設置、園内放送等により利用者指導を行った。

(5) 広報・パブリシティ取組の考え方

利用促進を図るために、下記の通り、各種取組を行った。

- ・ホームページ・ブログでの情報発信→年188回発信
- ・SNSの活用→Facebookを活用し、年188回発信
- ・公園パンフレット、潮干狩りチラシの製作・配布→区役所やシーサイドライン等で配架
- ・プレスリリース→海開き(7月)、かき小屋(10月)資料配付
- ・団体広報誌の制作・配布→季刊誌みどりを年4回発行し、イベント情報を発信

(6) 利用者ニーズ把握取組の考え方

利用者及び地域ニーズを把握するために、下記の通り各種取組を行った。

- ・利用者満足度アンケート→8月1日～9月30日にかけて利用者60人を対象に実施した。
- ・あんなこんな提案箱→管理センターに設置し、公園に関する提案を受け付けた。(1件)
- ・広聴システム→ホームページに設置し、イベントに関するご意見等を受け付けた。(6件)
- ・環境教育プログラムでのアンケート→海の環境を考える親子講座や食育講座の受講生を対象に実施した。

(事業報告書様式 9)
収支報告書(指定管理料のみ)

(事業報告書様式 10)
運営目標・実績報告

目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組(改善計画)
業務運営 1 (達成目標、運営業務の実施方針)	海を育み、みんなで楽しみ、こどもからお年寄りまで安全・安心・快適な、うつくしい風景のある公園づくり	公園利用者満足度アンケートの「全体の満足度」の「やや満足」「満足」の割合 8割以上	「やや満足」「満足」の割合 8割以上 (86%)	無し	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施する。
業務運営 2 (利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上)	利用者サービス・利用者満足度向上を目標として、本様式 11 自主事業報告に記載した事業を実施	30 件	31 件	1 件増	海の公園の魅力が伝えられる自主事業を引き続き実施する。
業務運営 3 (人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応)	①事業所長ほか、提案人員を配置 ②災害対応マニュアル・緊急連絡網の配備 ③情報受伝達、非常時参集、防災訓練の実施 ④災害時優先電話、資機材の配備	①提案人員の配置 ②配備完了 ③各 1 回 ④配備継続	①提案人員の配置完了 ②配備完了 ③各 1 回実施 ④配備継続	①～④無し	職員の防災力向上のために園長は防火管理・防災管理講習終了、全スタッフが普通救命講習を受講
人材育成 研修実施効果等	公園管理に資する知識や技術向上を目的とし、本様式 13 研修実施報告に記載した研修を実施する。	16 種	16 種	無し	公園管理におけるマネジメントの知識を深めるため、管理職に向けたパークマネジメント研修を新規で実施する。
維持管理 1 (施設の保守管理、補修計画)	予防保全型管理により、施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストを削減する。	年間管理計画表に基づく維持管理と修繕の計画的な実施。	年間管理計画表に基づいた作業の履行。	無し	なぎさ広場のスポーツターフは、引き続き夏季の部分養生を実施し、芝の育成を実施する。

維持管理2 (清掃、園地維持管理、災害対応)	①「白砂青松」の景観づくりを実施 ②海水浴場開設前に、潜水作業により海中清掃を実施 ③気象警報発表時に特別巡視・点検の実施	①②年間管理計画表に基づく維持管理と修繕の計画的な実施。 ③災害時の速やかな一次対応と復旧	①②年間管理計画表に基づいた作業の履行。 ③災害時の特別巡視を年12回実施。	①②③無し	広場の草刈りをイベント前を中心に年5回程度実施する。
収支 (修繕等、収入、支出)	①収入増や経費節減に取り組み、収支均衡に取り組む。 ②修繕予算は、予防保全を念頭に、緊急修繕にも対応できる額を計上するよう努める。	①着実な収支管理による収支均衡以上 ②修繕費13,624千円	①▲22,693千円 ②修繕費7,172千円	①▲22,693千円 ②緊急修繕費が予定より少なかったため、▲6,452千円	①収入増や経費節減に取り組み、収支均衡に努める。 ②引き続き予防保全に努めることにより、次年度はトイレの洋式化などの計画的修繕に努める。
経費節減策	園地管理資材、消耗品の一括発注	花苗、園地用資材等9件の一括発注の実施	9件	無し	引き続き、電力の入札や一括発注を実施し、経費の節減に努める。

(事業報告書様式11)

自主事業実施報告

No	事業名	事業内容・実施結果考察	回数	実施日	参加人数	収支状況 (単位:円)
1	海の環境を考える親子講座	海の公園周辺の自然環境について、親子で学べる全7回の講座を開催した。	7	H30.7.1 他	98	収:32,000 支:204,388
2	みんなの花壇づくり	市民団体や小学校等と協働して園内の花壇づくりを行った。	1	H31.3.15	320	収:0 支:0
3	海の食育講座	海の環境や恵みと地域の食文化を学ぶ講座を開催した。	1	H31.2.3	32	収:16,000 支:34,840
4	海の環境学習会	環境保全団体との共催で、アマモの花枝採取などの体験学習を実施した。	4	H30.5.19 他	540	収:0 支:0
5	海とのふれあいセンターまつり	環境保全団体による活動PRや体験ブースを出展し、環境教育を行った。	1	H30.8.25	300	収:4,000 支:36,875

6	緑のカーテンづくり	温暖化防止の啓発活動として、管理センターに緑のカーテンを設置した。	1	H30. 5. 25	—	収：0 支：0
7	ふれあいセンター展示	環境啓発展示を季節替わりで行った。	通年	通年	—	収：0 支：0
8	海の生物展示	海域の生物を水槽等で展示した。	通年	通年	—	収：0 支：248,833
9	なぎさ広場団体サッカー利用	チーム登録した一般団体になぎさ広場でサッカー利用をしていただいた。	通年	通年	10,218	収：2,225,350 支：6,107,167
10	横浜FCサッカー教室	横浜FCと連携した通年型のサッカー教室を開催した。	32	H30. 4. 12 他	77	収：0 支：0
11	国際チビッコサッカー交流試合	横浜サッカー協会と協働し、市内少年チームと東京横浜独逸学園等との交流試合を行った。	2	H30. 12. 1 他	500	収：0 支：0
12	ビーチバレー大会	横浜ビーチバレー連盟と協働してビーチバレー大会等を誘致した。	26	H30. 4. 14 他	—	収：0 支：0
13	ビーチスポーツフェスタ	市体育協会と連携してビーチテニス・ビーチサッカーなどの大会を開催した。	4	H30. 7. 28 他	7,198	収：0 支：0
14	飼い犬のマナー教室	市動物愛護センター等と連携し、犬の飼い方やしつけ方等の教室を開催した。	1	H30. 11. 3	11	収：0 支：0
15	トライアスロン大会	市体育協会等と連携して横浜シーサイドトライアスロン大会を開催した。	1	H30. 9. 30	603	収：0 支：0
16	サンドアートフェスティバル	砂像の展示会と市民参加による砂像づくり体験を行った。	1	H30. 9. 16	5,000	収：15,000 支：1,004,496
17	ウィンターイルミネーション	管理センター屋上庭園をイルミネーションで彩った。	1	H30. 11. 22 ～ H31. 3. 31	—	収：0 支：1,587,600
18	金沢まつり花火大会	実行委員会の一員として花火大会の開催に協力した。	1	H30. 8. 25	280,000	収：0 支：0
19	金沢まつりいきいきフェスタ	実行委員会の一員として区民まつりの開催に協力し、ブースを出展した。	1	H30. 10. 20	170,000	収：0 支：55,080

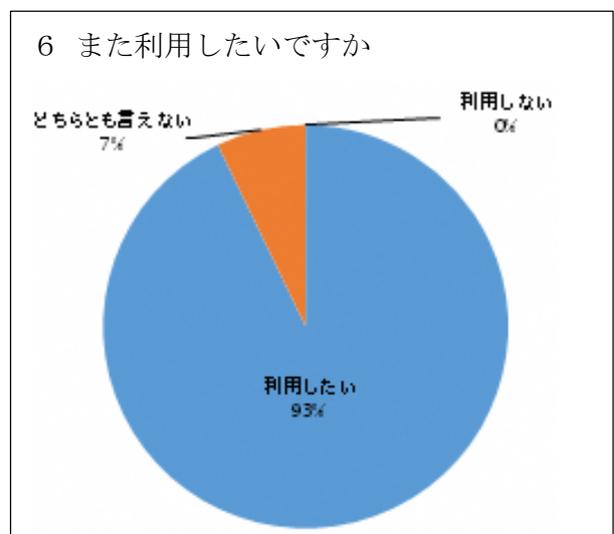
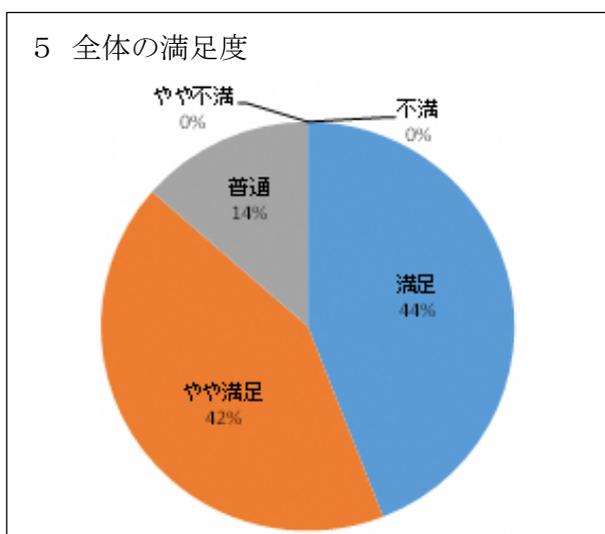
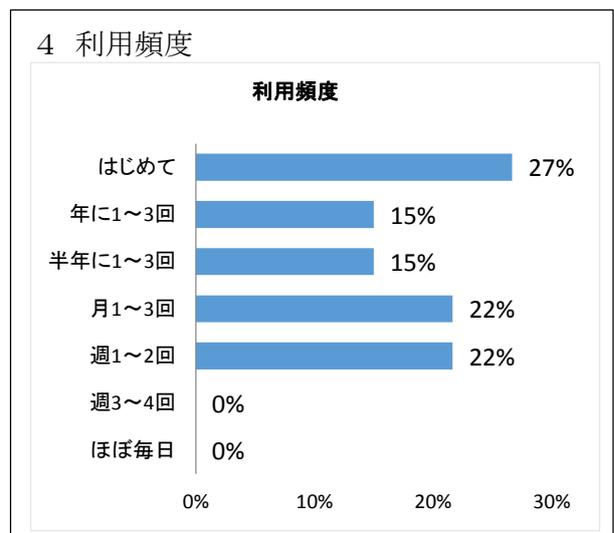
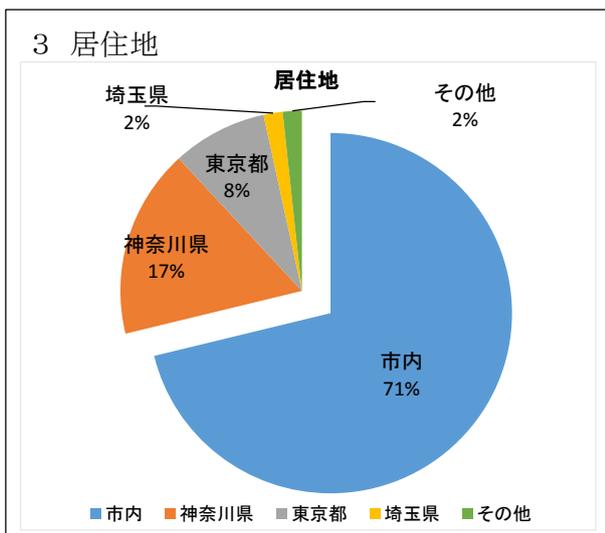
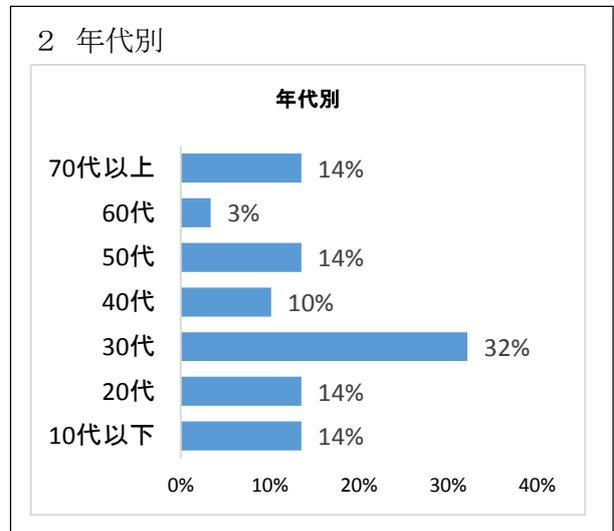
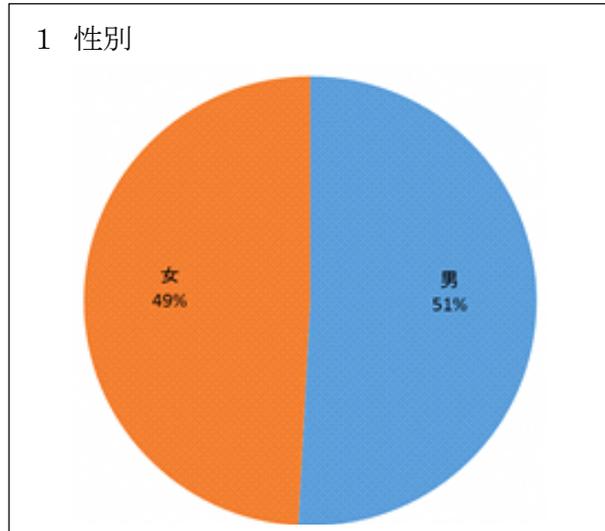
20	金沢文庫芸術祭	地域の有志による実行委員会を中心になって行う「金沢文庫芸術祭」のメインイベントの運営に協力した。	1	H30. 9. 16	14, 200	収：0 支：0
21	どんど焼き	一年の無病息災を祈る小正月の行事を地域団体や町内会と協働して行った。	1	H31. 1. 20	50, 000	収：0 支：0
22	フリーマーケット	地域交流とリサイクル推進のため柴口駐車場で共催により行った。	24	H30. 4. 7 他	70, 000	収：0 支：0
23	潮干狩りルールのPR	利用者への潮干狩りルール PR チラシ配布等を兼ねてキッチンカーを出店した。	12	H30. 4. 14 他	—	収：86, 426 支：0
24	海浜環境の保全等	アサリの分布調査、生息環境保全のための砂浜耕運業務、海とのふれあいセンター管理を行った。	通年	通年	—	収：0 支：1, 996, 564
25	海開きイベント	海開きに合わせて、地域や関係機関と協働でイベントを開催した。	1	H30. 7. 14	100	収：0 支：75, 000
26	かき小屋	閑散期対策で、岩手産のカキと横浜産の食材等を提供するかき小屋を運営した。	1	H30. 11. 1 ～ H31. 3. 31	3, 504	収：0 支：0
27	ライフジャケット着用イベント	今年は別会場で実施のため、海水浴場監視所で子供向けライフジャケットを無料で貸し出した。	49	H30. 7. 14 ～8. 31	—	収：0 支：0
28	Run Sup Yoga	海辺で楽しむスポーツイベントを開催した。	1	H30. 7. 7	600	収：0 支：0
29	イベント傷害保険	全てのイベントに適用するイベント保険に加入し補償体制を整えた。	通年	通年	—	収：0 支：17, 992
30	ポールウォーキング教室	専用のポールを使用して園内を廻るウォーキング教室を実施。	1	H30. 11. 3	14	収：0 支：0
31	親子サッカー教室（なぎさ広場）	横浜FC指導のもと、天然芝でボールを蹴る楽しさを体感するイベントを開催。	1	H30. 5. 26	40	収：0 支：0
32	収益等の還元	海浜環境の保全、環境教育の実施のための財源として、収益を還元。	—	—	—	収： 10, 752, 000 支：0

(事業報告書様式 12)

利用者アンケート結果

実施期間 : H30. 8. 1~H30. 9. 30

回答者 : 60 人



(事業報告書様式 13)
研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	H30. 4. 2	新採用職員研修	協会の組織及び事業概要や経営状況について講義を受け、基礎知識を学んだ。
2	H30. 6. 19	文書事務取扱研修	起案等の文書の作成方法、専決区分、文書記号・番号、保存年限、公印の取扱い等、当協会における文書事務の基本事項について学んだ。
3	H30. 6～7	CS・接客研修	サービス行動の振り返り、「聴く力」「伝える力」の強化、外国人に対する所作、動作のポイントを学んだ。
4	H30. 6～7	個人情報保護研修	個人情報保護についての知識と理解について学び、自職場および業務に関わる個人情報取扱いについて学んだ。
5	H31. 1. 31 他	ハラスメント研修	互いに指摘しやすい職場を作るために、部下とのコミュニケーションについて学んだ。
6	H31. 1. 31 他	メンタルヘルスケア研修	働きやすい職場づくりのためのラインケアについて学んだ。
7	H31. 2. 14	人権啓発研修	障害の種類と特性等を学んだ後、車いすの介助方法の演習を行った。
8	H31. 2. 15	人権啓発研修	LGBT についての理解を深め、自分らしく生きられる社会づくりについて講義を受けた。
9	H31. 1. 31	係長職研修	相手を納得させ賛同を得るための技術やアサーティブコミュニケーションについて学んだ。
10	H30. 6. 19	経理事務取扱研修 I	経理処理を行う上で、根拠となる経理規程についてポイントを学んだ。
11	H30. 4. 4	園地作業機器取扱い講習等	刈払機の安全衛生教育を受講し、刈払機の基礎知識を学んだ。
12	H30. 10. 10	遊具日常点検講習	安全な遊具を提供するため、遊具の安全、点検のポイント、点検に関する技術を取得した。
13	H30. 11. 22 他	公園維持管理研修	刈払機、チェーンソー、トリマー各機械の基本的な構造についての講義の後、各機械のメンテナンス方法についての講習及び実習を実施。
15	H30. 4～ H31. 3 (月 1 回)	安全衛生委員会	各回テーマ(熱中症、風水害、震災等)を定めて対応策を検討し、公園間で情報共有した。
16	H30. 10. 15	AED, 心肺蘇生、初期消火訓練	金沢消防を講師に招き、避難誘導・初期消火・心肺蘇生法訓練を実施し、知識と技術を取得した。